

蔵小だより

名張市立蔵持小学校

10月号 No.2

平成29年10月4日

全国学力・学習状況調査結果の分析及び今後の取組

本年4月18日（火）に6年生を対象に実施されました、「全国学力・学習状況調査」の
について、その結果が公表されるとともに、個々の子どもたちの結果が届きました。

本校としての児童の学力の定着状況、学習状況、生活習慣等の分析結果や今後の取組につ
いて、概要を以下のように報告します。

1 教科についての調査結果

(1) 平均正答率の全国との比較

本校の平均正答率は、

- ・国語A（主に「知識」を問う問題）では、全国平均をやや上回っています。
- ・国語B（主に「活用」する問題）では、全国平均をやや上回っています。
- ・算数A（主に「知識」を問う問題）では、全国平均を上回っています。
- ・算数B（主に「活用」する問題）では、全国平均を上回っています。

このことからわかるように、国語・算数ともに、学力の定着が図られています。

(2) 結果から見られる本校の傾向（強みや弱み）

教科	結果から見られる本校の傾向（強みや弱み）	
国語	強み	<ul style="list-style-type: none">・基礎基本の定着ができています。・短答問題や、選択問題は全国平均に比べ、非常に高い。・目的や意図に応じて、文章全体の構成を考えたり、文章を引用して書いたりすることに優れている。・無解答率が低い。
	弱み	<ul style="list-style-type: none">・スピーチメモや叙述をもとに理由を明らかにして、自分の考えをまとめて書くことに課題が見られる。・目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読むことに課題が見られる。
算数	強み	<ul style="list-style-type: none">・基礎基本が定着しており、特に＋、－、×、÷の四則計算の正答率が高い。・記述式の問題の際に、自分の考えを式や言葉で表すことができる。・無解答率が低い。
	弱み	<ul style="list-style-type: none">・立体図形をイメージしながら考えることが苦手である。・数直線やグラフが表している意味を理解することに課題がある。・割合の問題が苦手である。

2 児童質問紙調査おける特徴的な結果 ※数字は割合% ()内は全国比

良い傾向と思われること

- ・自己肯定感が高く、新たなチャレンジに対しても前向きである。86.1 (+8.2)
- ・スマホの使い方の約束を守っている。63.9 (+15.2)
- ・学校に行くことは楽しいと感じている。94.4 (+8.1)
- ・友だちとの話し合い活動ができる。63.9 (+13.6)
- ・外国に興味があり、外国の人と友だちになりたいと感じている。88.8 (+18.4)



課題があると思われること

- ・普段(月～金曜日)、1時間以上テレビゲームを使用している割合が高い。72.3 (+16.8)
- ・普段(月～金曜日)、1時間以上読書をする割合が低い。11.2 (-5.6)
- ・地域の活動への参加が少ない。25.0 (-10.0)
- ・自分の考えを説明したり書いたりすることが苦手と感じている。66.7 (+13.0)

3 学校質問紙調査おける特徴的な結果 ※他の小学校より力を入れて取り組んでいる内容

- ・総合的な学習の時間において、課題設定からまとめ・表現に至る探究の活動を意識した指導を行っている。
- ・地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱っている。
- ・近隣等の中学校と、教育目標を共有する取組を行っている。
- ・授業等で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会を設定している。

4 今後の主な取組(各学年の実態に応じた取組を進めます)

(1) さらに授業改善に取り組みます

授業改善とは、これまでの自分の指導を見直し、子どもたちにとって「学ぶ喜び・わかる楽しさ」が実感できる授業にすること。

- ・日頃から本を読む習慣を身に付けさせるため、全校で朝学の時間に読書に取り組んだり、学級文庫や図書室を活用した取組をすすめたりします。
- ・子どもたちが、自分の考えを自分の言葉で説明する機会を意図的に授業の中に設定します。
- ・子どもたちの学力の状況を細まめに把握し、子どもの学びに火をつけるような教材開発や指導方法を工夫します。

(2) 学習規律を見直し、徹底を図ります

- ・場所や話す対象に合わせた話す声の大きさやスピードなど、相手意識に立った話し方の取組を充実します。
- ・一日一回、聞いて書く活動を取り入れます。(例：先生の話の聴写し、できたかどうかを友だち同士で評価し合います。)
- ・机、椅子の高さに常に注意を注ぎ、正しい姿勢で学習に取り組めるようにします。

(3) 家庭の協力を得て、学習習慣の定着を図ります

- ・家庭学習の手引きに記載している各学年での家庭学習の内容、時間等を意識した取組をすすめます。
- ・家庭での読書習慣を身につけるために、ノーテレビ・ゲームデーやファミリー読書の取組などを推進します。
- ・「生活チェックシート」を活用しながら、規則正しい生活習慣を身に付けさせる取組をすすめます。

5 おわりに

本年度の全国学力・学習状況調査における平均正答率は、上記に示す通りであり、これまでの成果が表れているところと、学校での学習や生活習慣、家庭学習など、今後改善していかなければならないところが明らかになりました。

今後も、引き続き、学校と家庭・地域が一体となって、子どもたちの豊かな学びと育ちにむけた取組を進めてまいりますので、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。